

知っていますか？

男性の家事・育児への参加の重要性



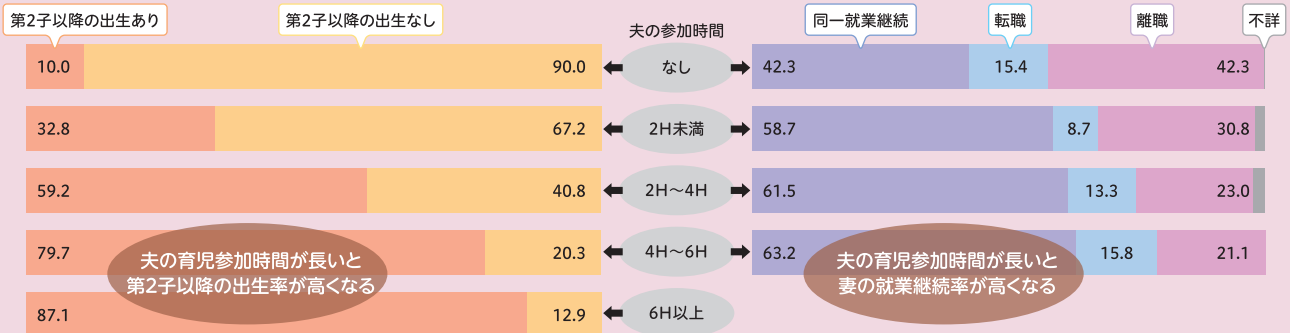
夫婦の共働きが増えた昨今、子育て家庭を取り巻く環境には色々な課題がありますが、家庭生活においては男女が家事・育児へ共同して参画することが重要と考えられます。それでは男性の家事・育児への参加によるプラスの影響と現状はどうなっているのでしょうか。

2人目以降の子供の出生・妻の同一就業継続には、夫の家事・育児が影響

夫の休日の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生率が高くなり、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、出産後の妻の同一就業継続割合は高く(妻の離職割合は低く)なる傾向です。

■夫の休日の家事・育児時間別に見た第2子以降の出生状況

■夫の平日の家事・育児時間別に見た出産後の妻の就業継続の状況



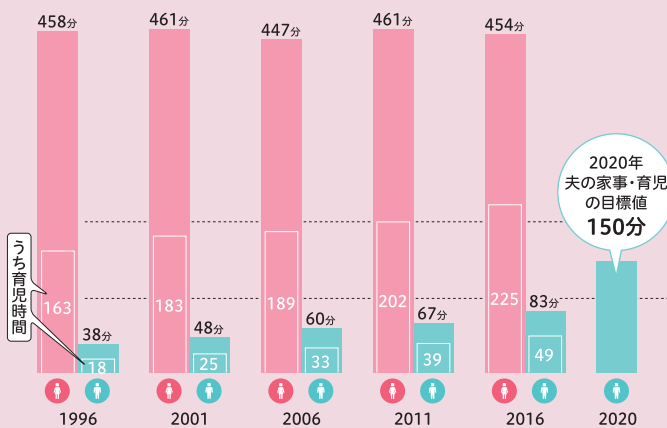
出典：厚生労働省「第14回21世紀成人者縦断調査(平成14年成人者)」

出典：厚生労働省「第6回21世紀成人者縦断調査(平成24年成人者)」

日本(和歌山県)の男性の家事・育児時間は短い

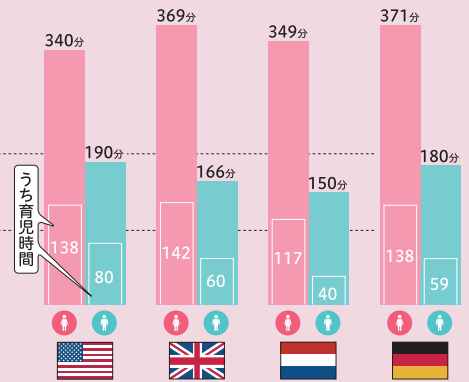
日本の男性の家事・育児時間は増加傾向ではあるものの、女性と比較すると1/5以下であり圧倒的に短く、世界的に見ても先進国の中で最低の水準にとどまっています。さらに各都道府県単位で見ると、和歌山県は全国最下位です。

■6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間(週全体1日平均)



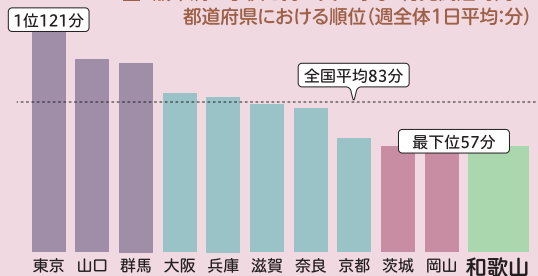
出典：内閣府資料、総務省「平成28年社会生活基本調査」

先進国は男性の家事・育児への参加時間が日本よりも多い



出典：内閣府資料

■6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間の都道府県における順位(週全体1日平均:分)



出典：総務省「平成28年社会生活基本調査」

企業同盟における取組内容



2021年11月16日に開催されたセミナーの様子

男性が育児に参加しやすい環境を作っていくために、男性の育児と仕事の両立を積極的に促進する企業の事例紹介を行うセミナーや、「イクメン・イクボス」推進につながるような出前講座・研修を実施しています。